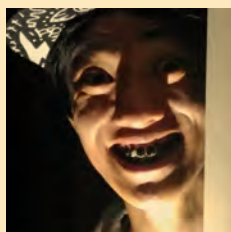




5人のアーティストが

“今”を

東京で最もおもしろい動きをしている
5名/組の若手アーティストが集合する。
今回公開されているマイク・ケリーの大作
「デイ・イズ・ダーン」とは一体どんな作品なのか？
この作品に引き込まれるのは何故なのか？
作り手の視線からアート界のモンスター、
マイク・ケリーを解剖してみる。



井上 徹 (オル太)

1986年神奈川県生まれ。2010年多摩美術大学絵画学科油画専攻を卒業。2009年よりアーティストコレクティブ「オル太」として活動を始め、サウンドの要素を持った彫刻を制作。2017年にイベント「Draw!The Party!From White!」(The CAVE、横浜)に参加。

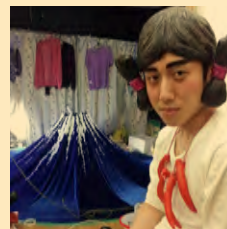


サエボーグ

サエボーグはラテックス製のスーツを自作し、自ら装着するパフォーマンスを展開するアーティスト。
Department-Hのスタッフも務める。「Tag: Proposals on Queer Play and the Ways Forward」(ICA、USA・Philadelphia、2018)に展示参加中。

高田冬彦

現代美術家・映像作家。1987年生まれ。作者本人が自宅アパートで繰り広げる誇大な想像的な映像作品が近年の主な作風である。
主な個展に『DREAM C A T C H E R』(Alternative Space Core/2018年)、『LOVE PHANTOM』(Art Center Ongoing/2017年)など。



村井 祐希

1995年神奈川県横浜市生まれ。すごく緊張しています。続きは Web で 村井祐希 検索。



山内祥太

1992年岐阜県生まれ、2016年東京芸術大学映像研究科メディア映像専攻卒業。学生時代に彫刻と映像を学び、近年は3DCGとクロマキー合成を使用した映像作品を制作。リボンアートフェスティバル 2017などに参加



2.23(金)2018年 19:30-21:30

出演_井上徹(オル太)・サエボーグ・

高田冬彦・村井祐希・山内祥太

会場_ワタリウム美術館

参加費_1,500円 ●サポート会員750円 アートバス会員1200円

定員_50人(先着順)

参加方法_ワタリウム美術館1Fカウンターにて、

イベント参加券をご購入ください。

●定員になり次第、販売を終了いたします。

●参加券ご購入後のお客様のご都合による返金はできませんので、ご注意ください。



WATARI-UM
The Watarium Museum of Contemporary Art

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6 Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714 official@watarium.co.jp http://www.watarium.co.jp

MIKE KELLEY
DAY IS DONE

関連イベント

2018年1月8日(月・祝)
~3月31日(土)

ワタリウム美術館